

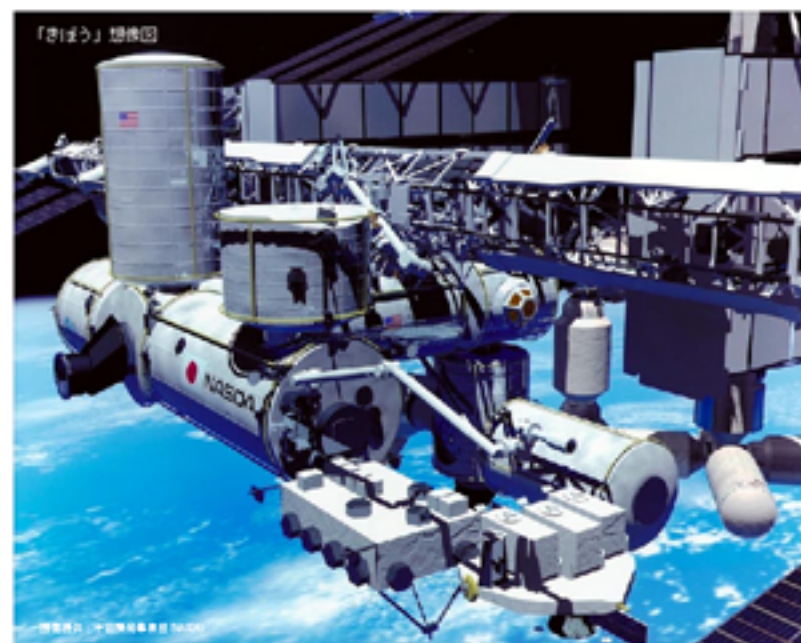
児童センター無線クラブでは国際宇宙ステーションの宇宙飛行士とアマチュア無線で交信をするアリス計画を進めています。

## ●宇宙の研究所

約400km上空に建設されている施設です。人が長期に生活し、地球を約90分で1周しています。宇宙空間を利用し地球や天体の観測および実験・研究を行います。その結果は今後、私達の生活や産業に生かされます。つまり宇宙にある研究所といったわけです。

## ●国際協力と平和のシンボル

国境のない宇宙空間に建設される国際宇宙ステーションは、現在アメリカ・カナダ・日本・ロシア・ヨーロッパ各国が協力し開発を進めています。宇宙開発は国と国との競争から協力へと変わってきました。このことから国際協力と平和のシンボルと言われています。



## ●成長するその形

国際宇宙ステーションは40数回に分けて、地球からロケットで次々に打上げられます。1998年に打上げがはじまりましたが、最終的な完成は2006年の予定となっています。従ってその形は、打上が行われるごとに変化します。完成時は全長110mとなるそうです。

## ●実験施設「きぼう」

国際宇宙ステーションで日本が担当をするのは、「きぼう」と名づけられた実験施設です。ここでは最大4人まで活動できます。2004年から打上られる予定です。既に、試作品がつくられ数々の試験が地上で行われています。